

星槎道都大学

平成 30 年度 卒業時満足度調査 結果報告

2019 年 9 月



学務部 I R 課

平成 30 年度 星槎道都大学 卒業時満足度調査 について

平成 31 年 3 月に、卒業生を対象に本学の提供した教育及び学生生活支援に対する満足度について、具体的に把握することを目的に「卒業時満足度調査」を実施いたしました。ご協力いただきました本学教職員と卒業生のみなさまにお礼申し上げます。

集計結果は後述しますが、本学に入学し在籍したことに多くの学生が満足し成長させて送り出すことが出来ました。

調査対象：平成 30 年度卒業生（平成 31 年 3 月期）

調査人数：164 人

回答者数：143 人（回答率 87.2%）

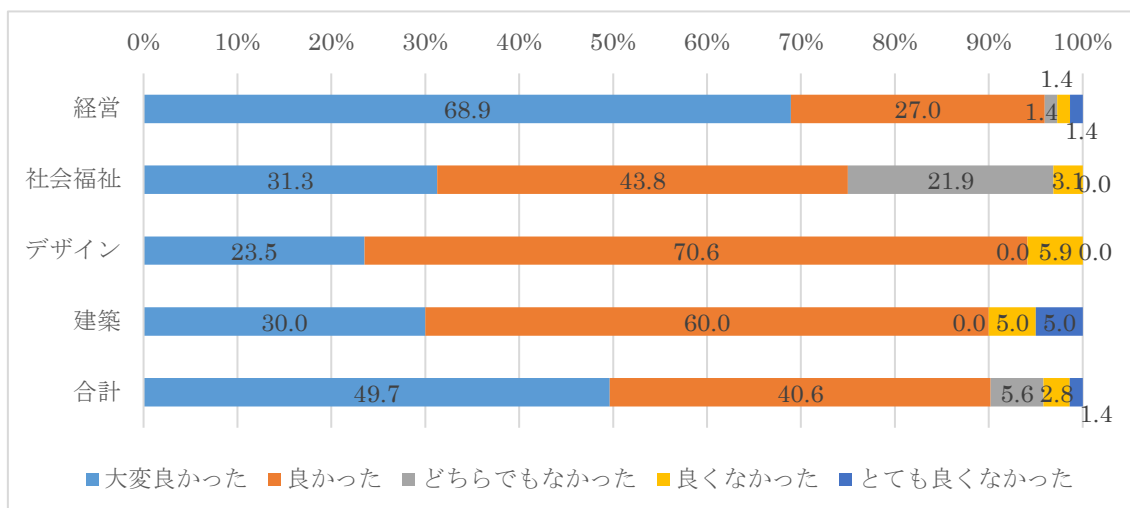
調査方法：平成 30 年度卒業式当日（平成 31 年 3 月 15 日）に調査

星槎道都大学
学務部 IR 課

平成 30 年度 星槎道都大学 卒業時満足度調査

Q 1. 本学に入学してよかったですか。

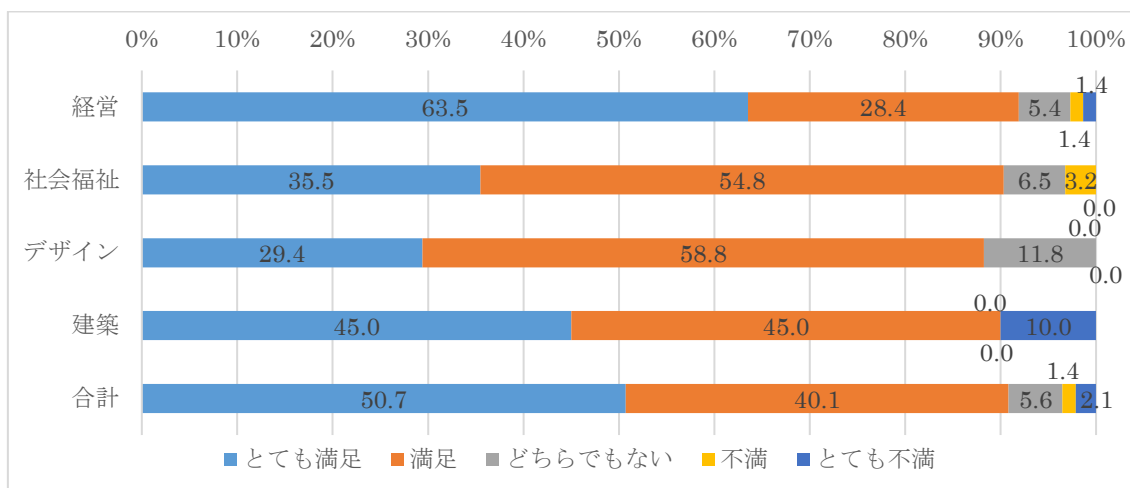
大変良かった と 良かった が **90.3%**



「大変良かった」と「良かった」が 9 割に達しており、卒業生の大半は本学に入学して良かったと回答しています。ただし、社会福祉学科は、「大変良かった」と「良かった」が 75.1% と他学科より低く「どちらでもない」も高い。「どちらでもない」の 21.9% は大きな比率であり予想外のことである。

Q 2. 所属した学部・学科に満足していますか。

とても満足 と 満足 が **90.8%**



どの学科も所属した学部・学科に満足している卒業生が約 9 割と高い数字であったが、建築学科は回答者の 1 割が「とても不満」と答えている。

Q 3. は、本学の教育についての満足度を下記の 7 項目を調査しました。

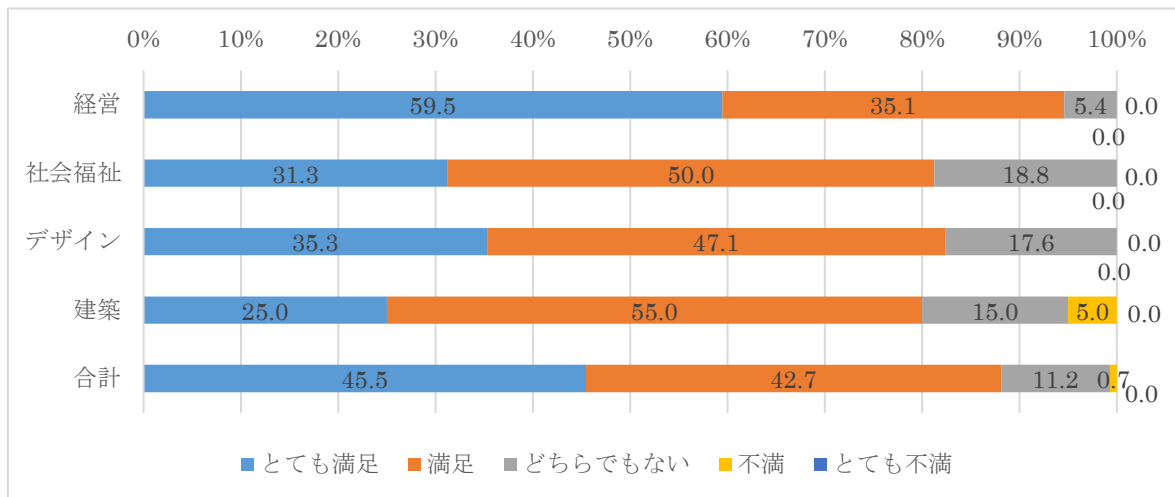
- [① 専門教育あるいは所属学科の授業]
- [② 授業の全体的な質]
- [③ 日常生活と授業内容との関連]
- [④ 将来の仕事と授業内容の結びつき]
- [⑤ 教員と話をする機会]
- [⑥ 大学のなかでの学生同士の一体感]
- [⑦ 大学での経験全般について]

平成 30 年 7 月に実施した「大学での学び実態調査」と同じ設問です。在学時は、どの項目についても控えめな回答が多く、卒業時にどのような変化があるのか確認しました。卒業生は本学の教育に満足し成長している事が伺えました。

Q 3. 本学の教育について

- [① 専門教育あるいは所属学科の授業]

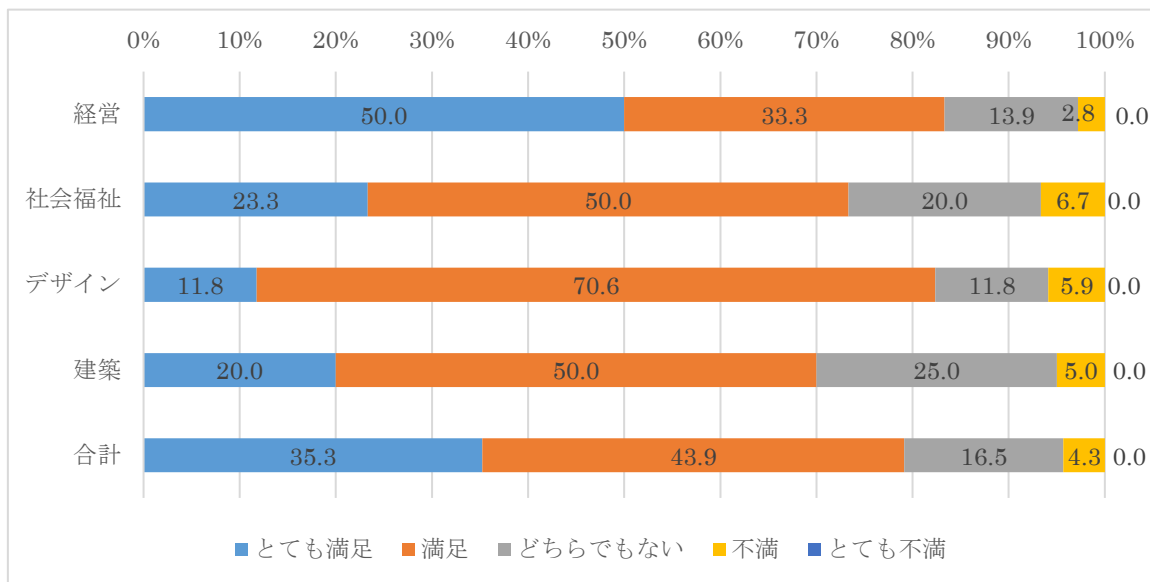
とても満足 と 満足 が 88.2%



ほぼ 9 割が満足していると回答しています。高い数字ですが、社会福祉学科・デザイン学科・建築学科は、経営学科に比べて専門教育に満足している率が低い。今後、授業改善等に更に取り組む必要がある。

Q 3. 本学の教育について
 [②授業の全体的な質]

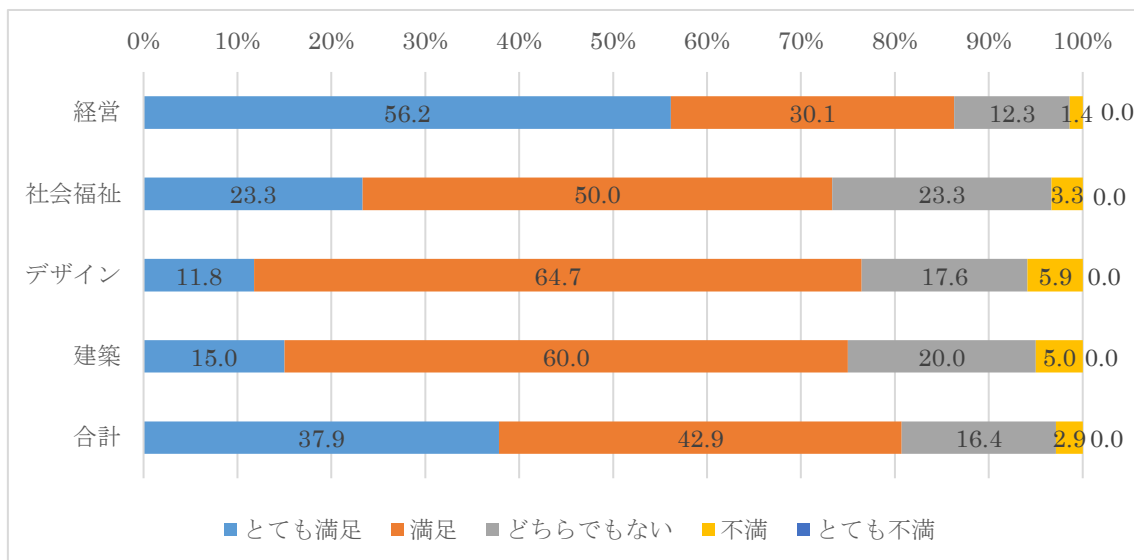
とても満足 と 満足 が **79.2%**



授業の質は、全体の約 8 割が満足している。「とても不満」と回答した卒業生はいなかったが「不満」と答えている卒業生もいる。授業のレベルが高くて不満なのか低すぎて不満なのか等理由の掘り下げが必要。

Q 3. 本学の教育について
 [③日常生活と授業内容との関連]

とても満足 と 満足 **80.8%**

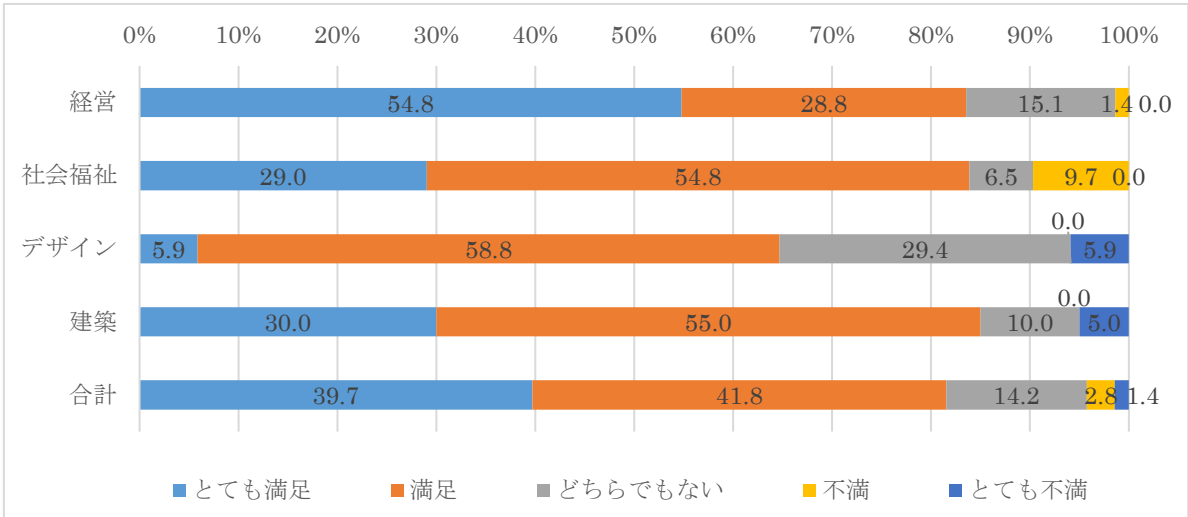


この設問についても、満足度が高い。

Q 3. 本学の教育について

[④将来の仕事と授業内容の結びつき]

とても満足 と 満足 が **81.5%**

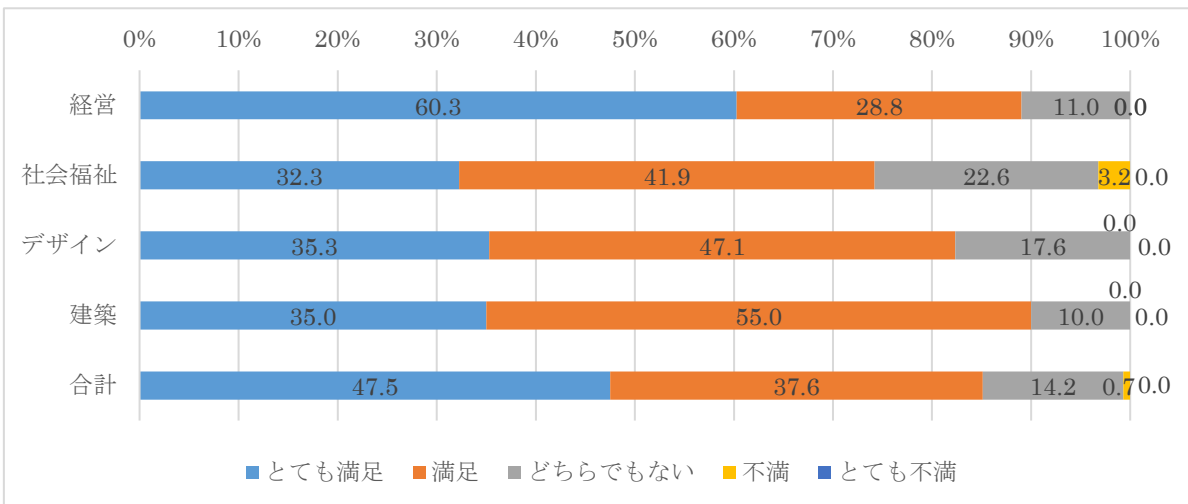


この設問も満足度が高いが、学んだ学問がそのまま卒業後の就職先に活かせる場合が多いと思われる社会福祉・デザイン・建築で「とても満足」が少ないのが気になる。特に、デザイン学科の「とても満足」・「満足」が64.7%と他学科と比べて低い。

Q 3. 本学の教育について

[⑤教員と話をする機会]

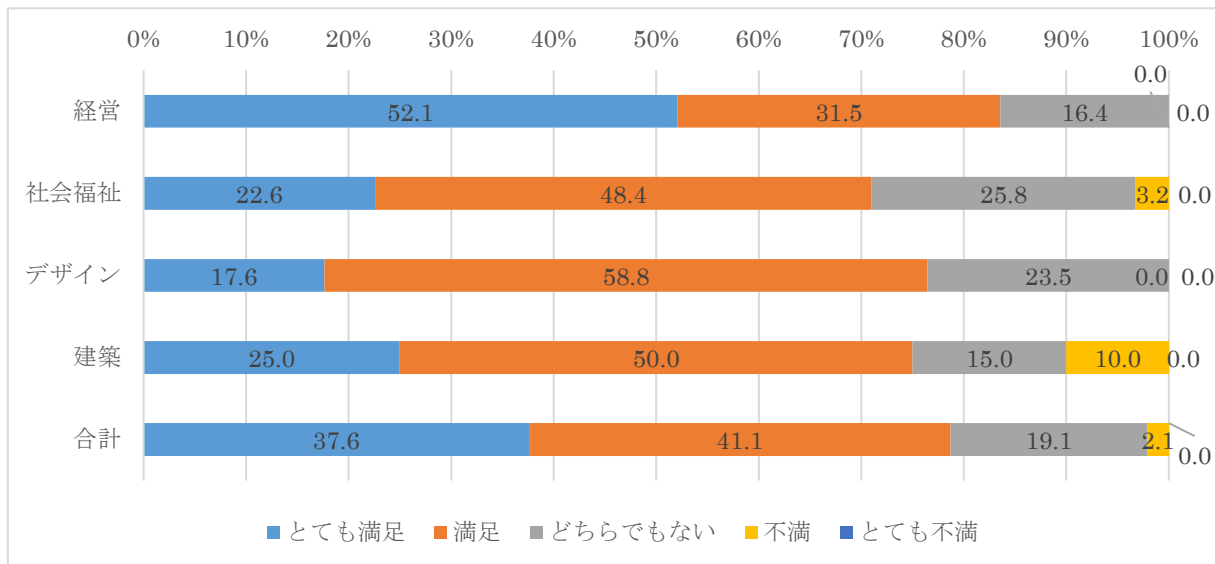
とても満足 と 満足 が **85.1%**



少人数教育のため、学生と教員の接点が多く、高い満足度は予想通りである。しかし、社会福祉学科は、「どちらでもない」が22.6%、「不満」が3.2%と4人に1人が教員との会話が少ないと感じている。

Q 3. 本学の教育について
 [⑥大学のなかでの学生同士の一体感]

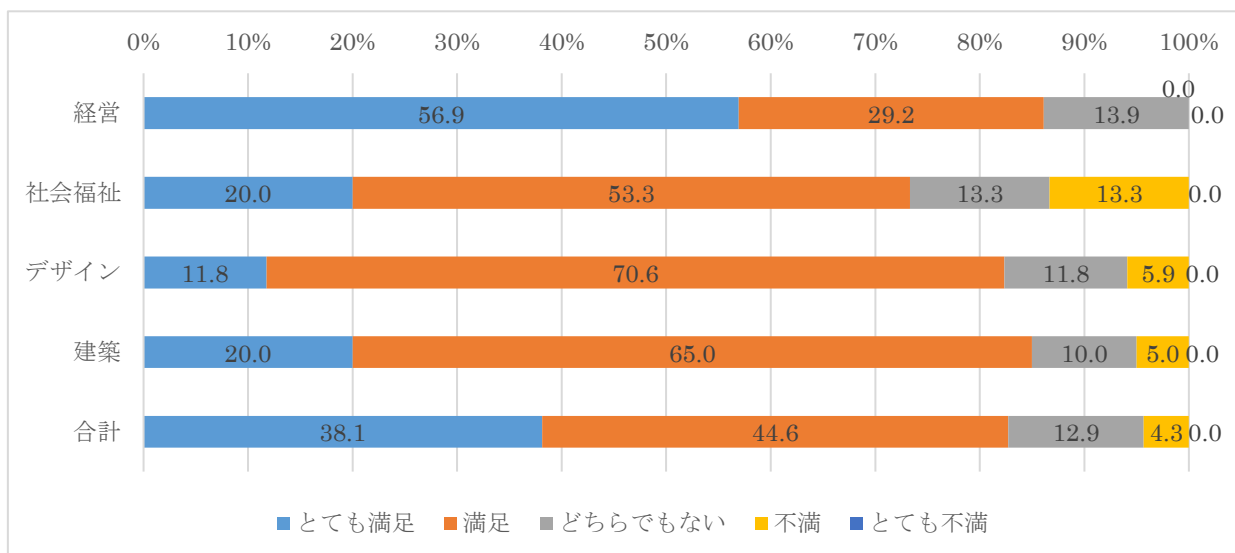
とても満足 と 満足 が **78.7%**



大学生は個々で活動することが多いが、本学は経営ではクラブに所属している学生が多いことや他学科は実技・実習等が多いので学生同士の一体感を持つことが多いと思われる。ただ、どの学科とも一体感を持っていない学生も一定数いる。

Q 3. 本学の教育について
 [⑦大学での経験全般について]

とても満足 と 満足 が **82.7%**



大学での経験 82.7%が「とても満足」「満足」と回答している。社会福祉学科の13.3%が「不満」と回答しており対策が必要と考えられる。

Q 4は、大学入学後から卒業迄に、能力や知識は増えたかを下記の8項目を調査しました。

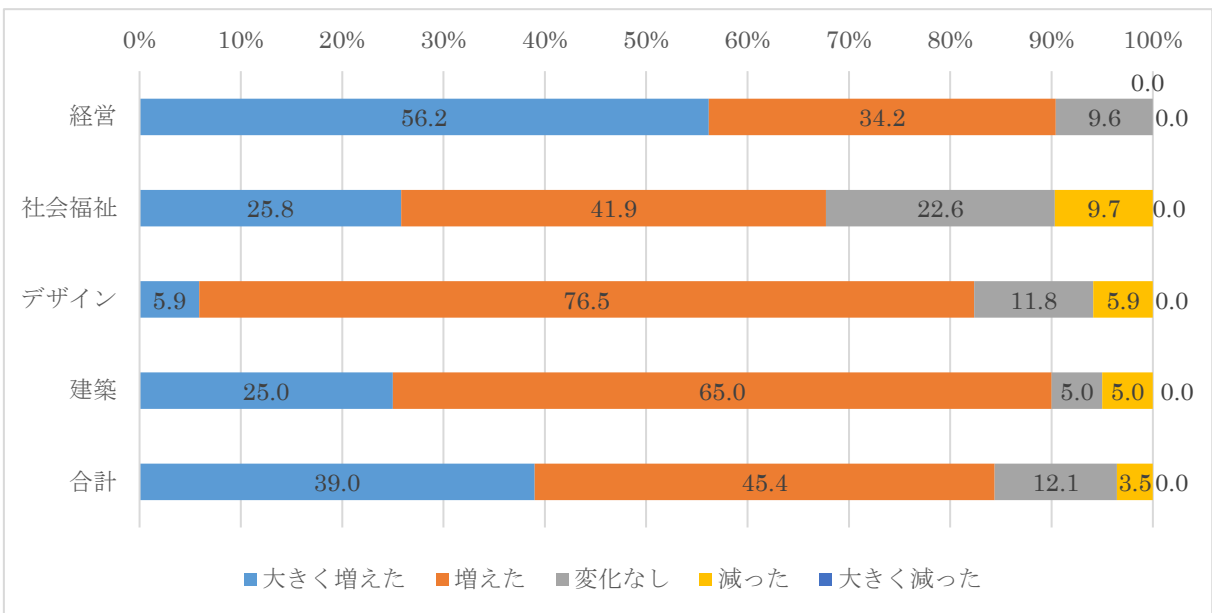
- [① 一般的な教養]
- [② 分析力や問題解決能力]
- [③ 専門分野や学科の知識]
- [④ 人間関係を構築する能力]
- [⑤ 他の人と協力して物事を遂行する能力]
- [⑥ 地域社会が直面する問題を理解する能力]
- [⑦ 国民が直面する問題を理解する能力]
- [⑧ 文章表現の能力]

Q 4についても平成 30 年 7 月に実施した大学での学び実態調査と同じ設問です。多くの卒業生が在学中に能力や知識を増やしたと実感したようです。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。

[①一般的な教養]

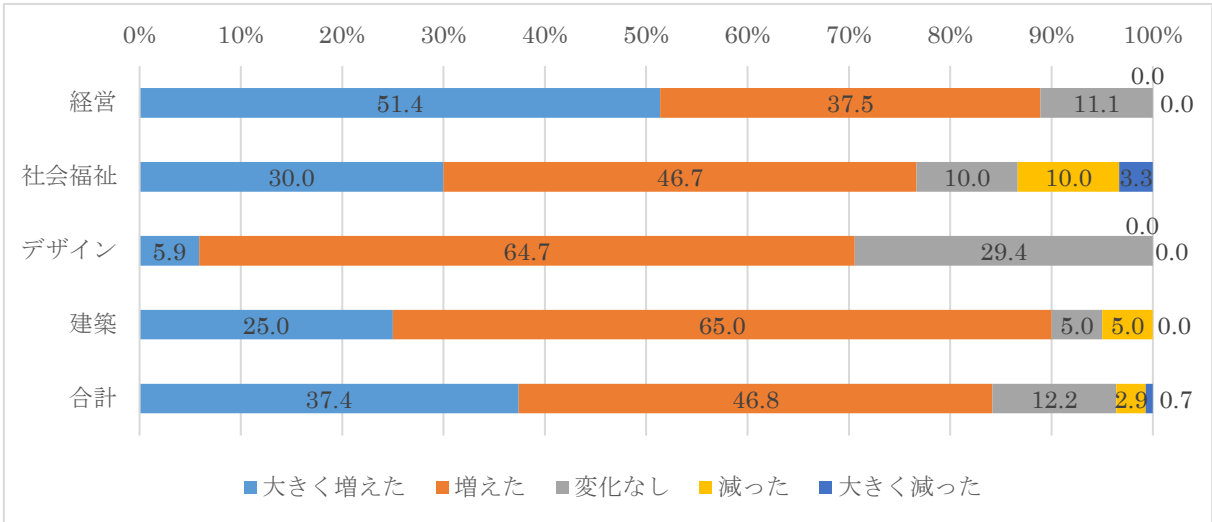
大きく増えた と 増えた が **84.4%**



全学では 84.4%の卒業生が増えたと実感している。社会福祉学科の「大きく増えた」「増えた」が 67.7%と低い。一般教養は、講義だけでなく自ら身につけるなど学生本人が努力する必要がある。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [②分析力や問題解決能力]

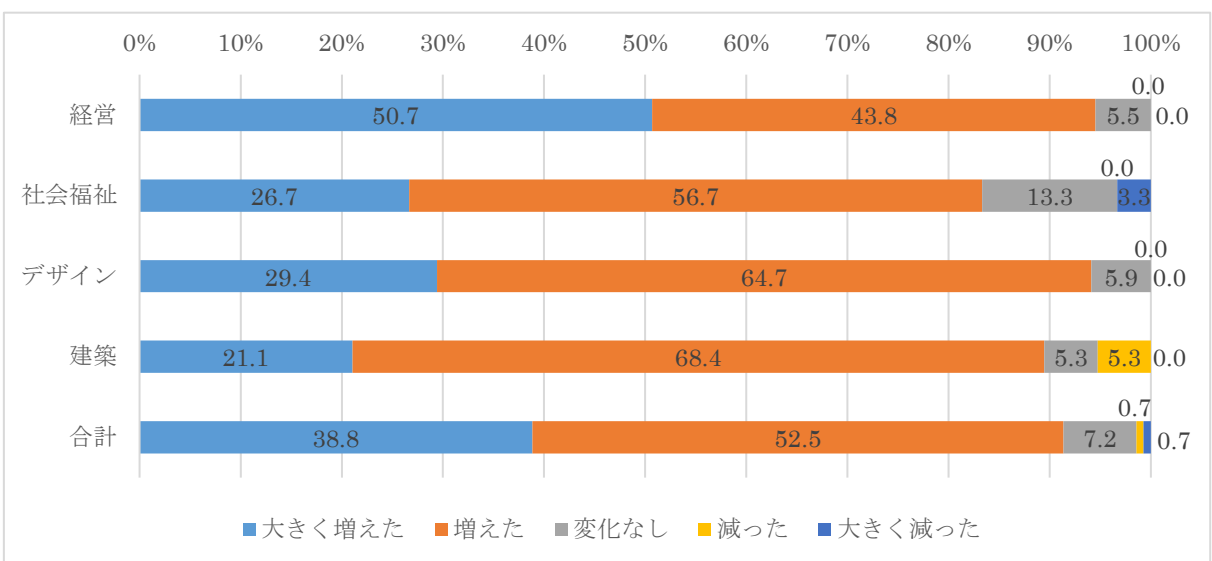
大きく増えた と 増えた が **84.2%**



分析力や問題解決能力について全体では 84.2%が「大きく増えた」「増えた」と回答しており良い結果である。デザイン学科は 70.6%と低い。実際は分析能力や問題解決能力は増えていると思われるが、学科で学ぶ学問領域の特性が分析力や問題解決能力を磨くものとは異なるため実感がないのかもしれない。社会福祉学科は、「増えた」と感じる卒業生が 76.7%だが、「減った」10.0%や「大きく減った」3.3%と回答した卒業生がいたことは今後の課題である。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [③専門分野や学科の知識]

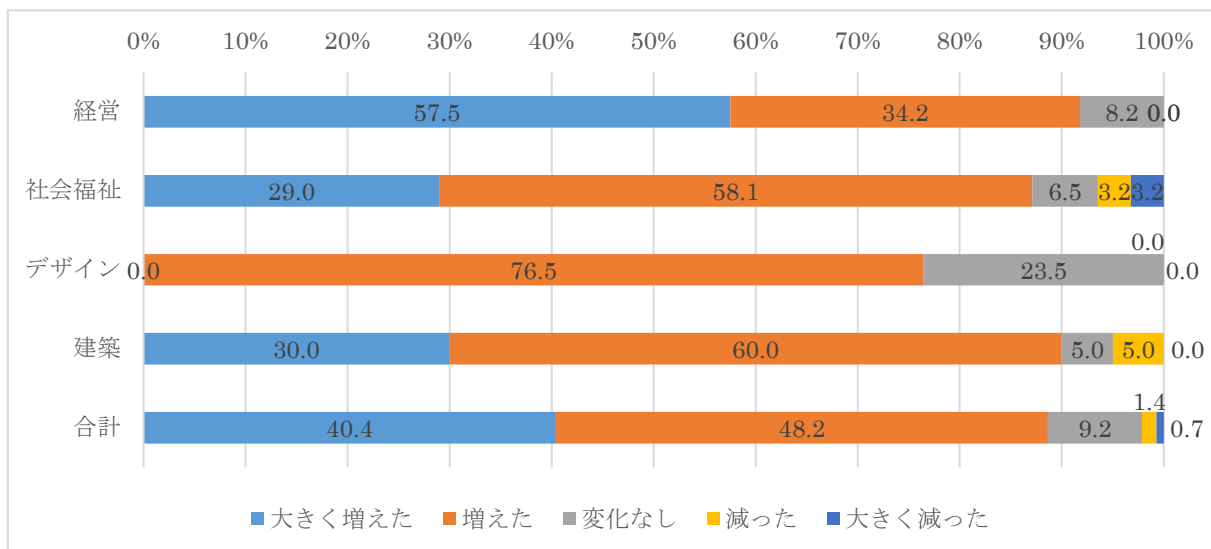
大きく増えた と 増えた が **91.3%**



91.3%が「大きく増えた」「増えた」と回答しており高い数字である。少数ではあるが「減った」や「大きく減った」と回答した卒業生がいたことは残念である。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [④人間関係を構築する能力]

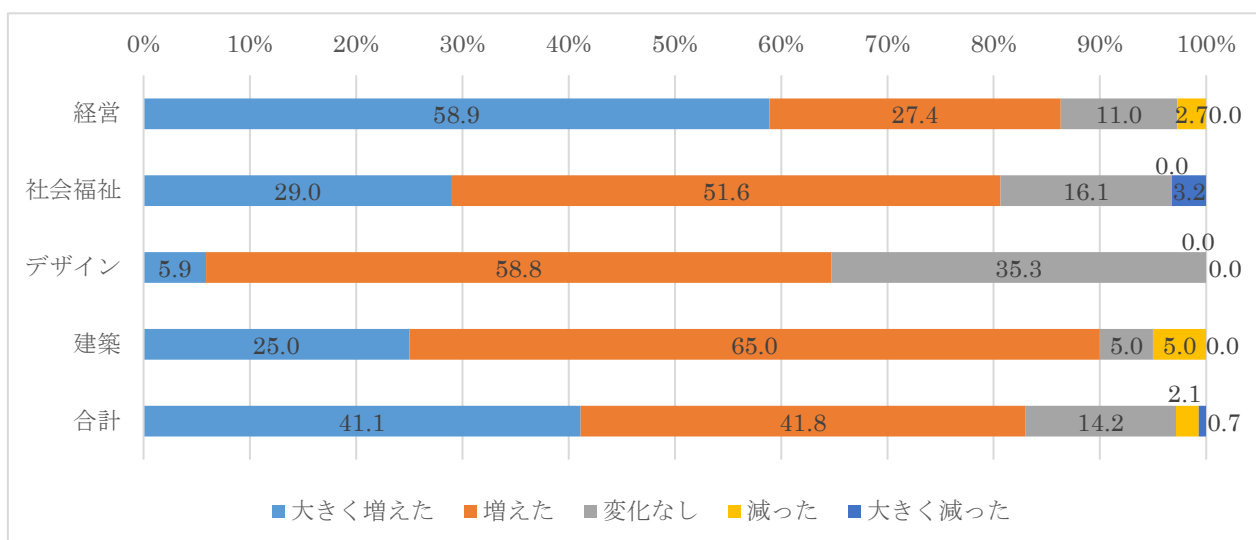
大きく増えた と 増えた が **88.6%**



人間関係構築する能力は、約9割の学生が増えたと答えている。デザイン学科は「大きく増えた」が0人で「増えた」を加えても76.5%で、個人で制作活動をするためか他学科より少ない。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [⑤他の人と協力して物事を遂行する能力]

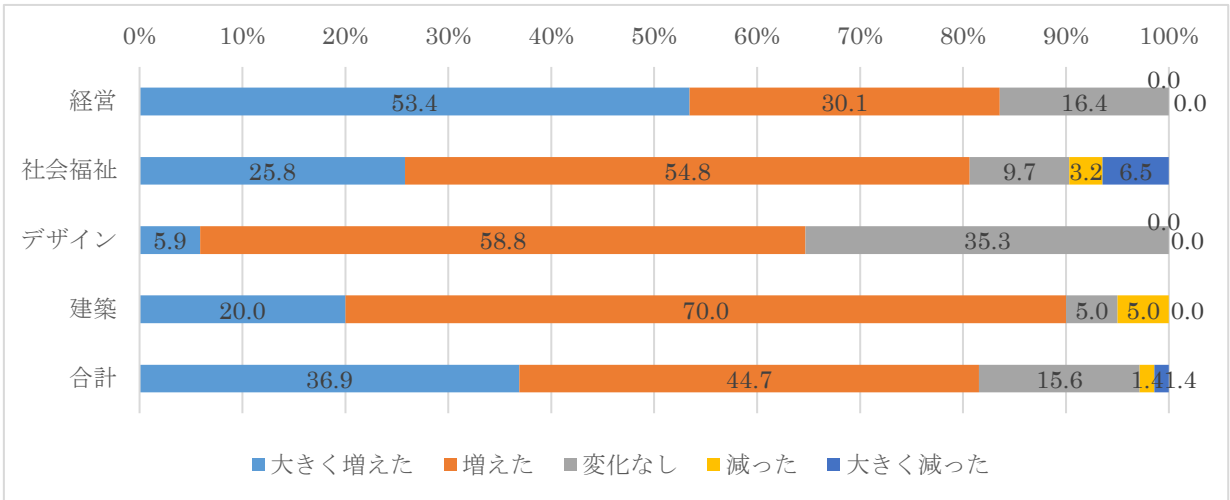
大きく増えた と 増えた が **82.9%**



他の人と協力して物事を遂行する能力は、「大きく増えた」と「増えた」が82.9%であった。デザイン学科は64.7%で、他学科と比較すると少ない。Q 4 ④と同じで個人で作品を制作することも影響していると考えられる。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [⑥地域社会が直面する問題を理解する能力]

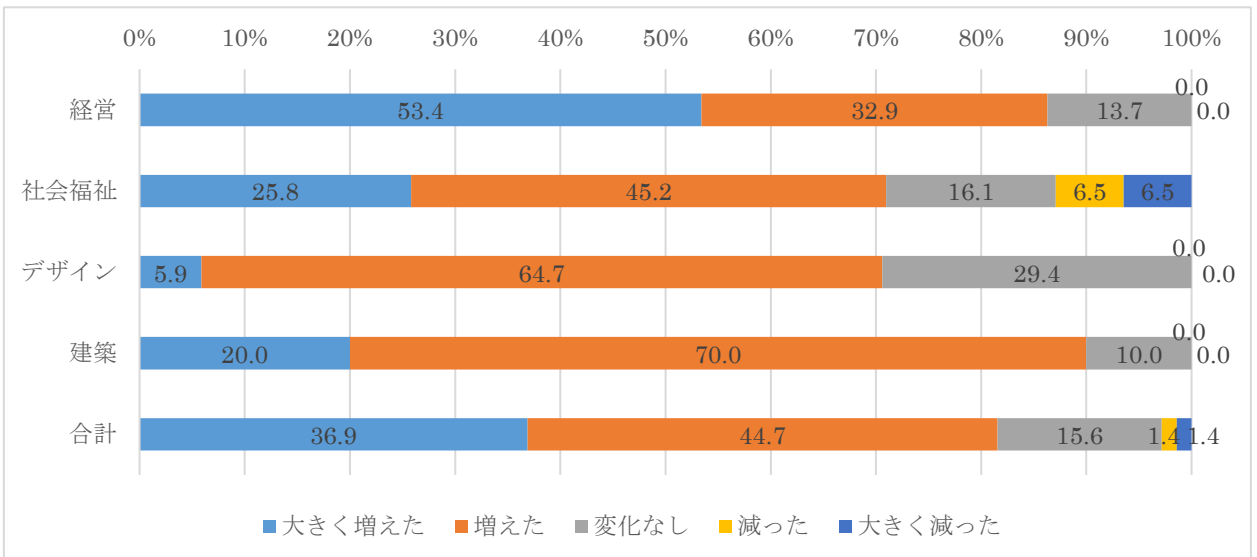
大きく増えた と 増えた が **81.6%**



地域社会が直面する問題を理解する力は、大学生ともなれば身につけていなければならない。全体で 81.6%は合格点。デザイン学科の学生が社会への関心の低い学生が多いのは残念。芸術は社会とは無縁ではなく、社会情勢も作品に取り入れなければ、作品に共感を得られないのではないのか。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [⑦国民が直面する問題を理解する能力]

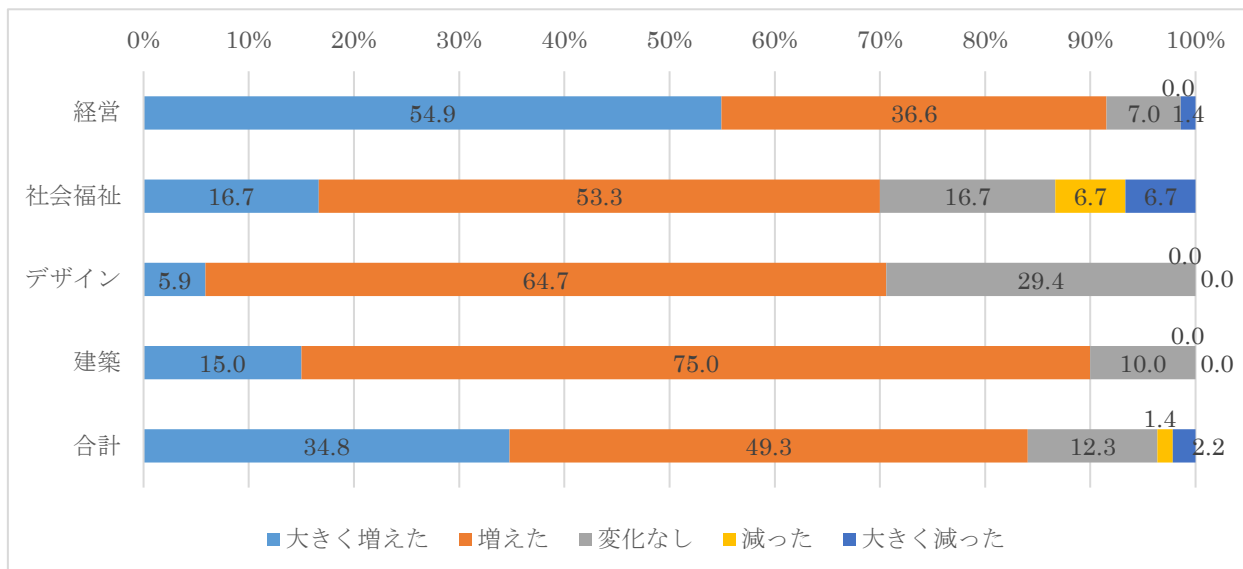
大きく増えた と 増えた が **81.6%**



Q 4 ⑥と同じ、全体としては概ね高い数字だが、社会福祉学科とデザイン学科の一部で関心が薄いと結果が出ている。

Q 4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。
 [⑧文章表現の能力]

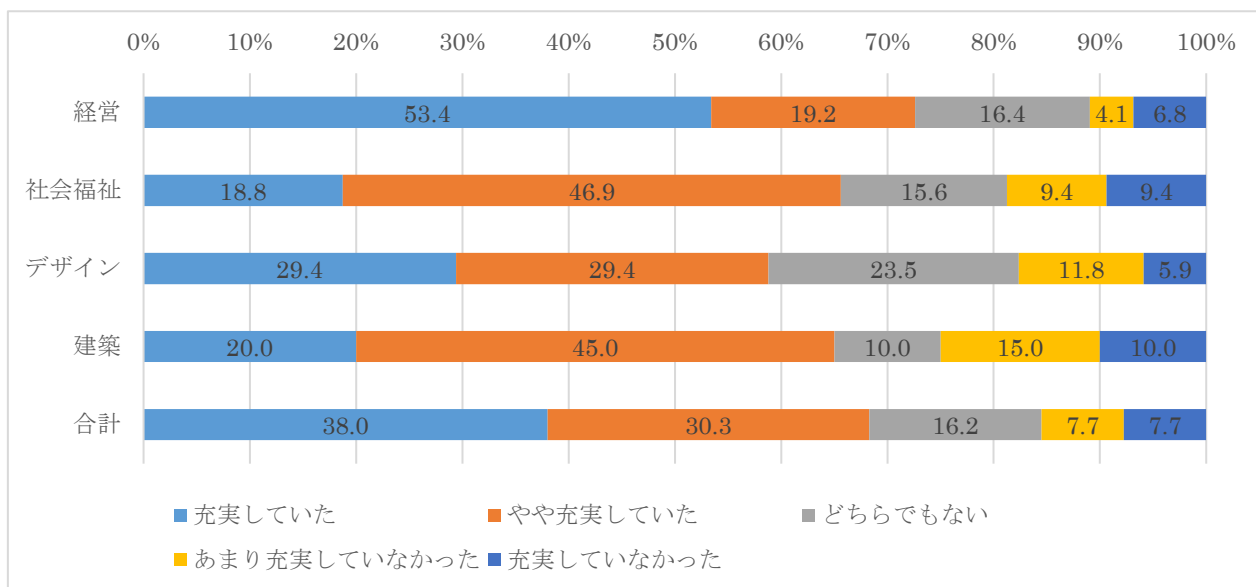
大きく増えた と 増えた が **84.1%**



社会福祉学科とデザイン学科が「どちらでもない」と「減った」「とても減った」と回答者が3割に上っており、社会で必要となる能力を向上させる工夫が課題。

Q 5. 学内の施設・設備は充実していましたか

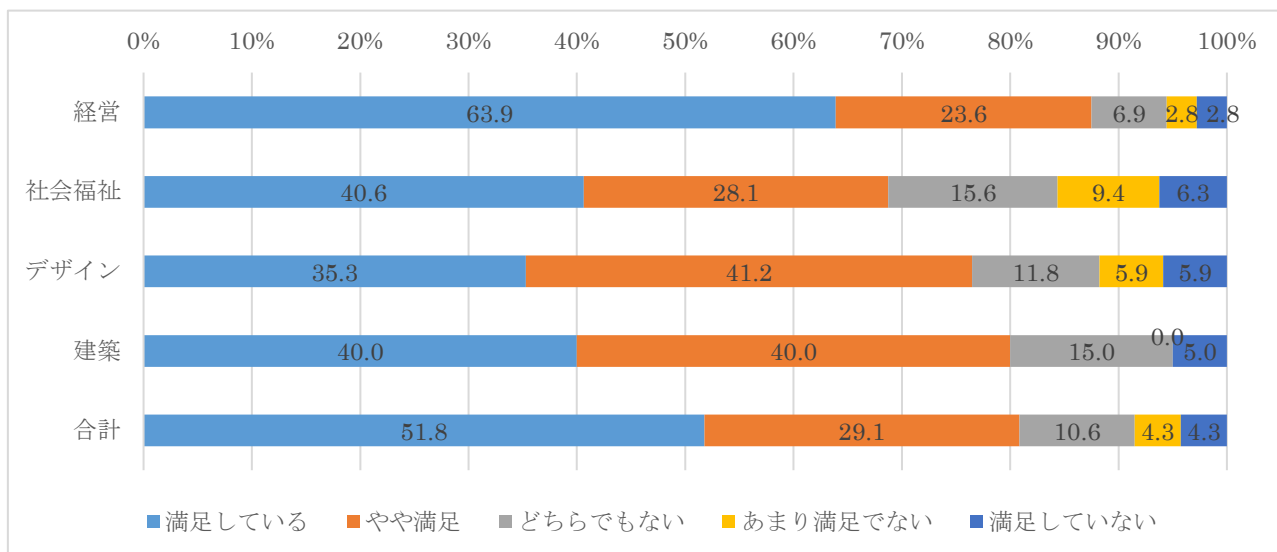
充実していた と やや充実していた が **68.3%**



「充実していた」38.0%、「やや充実していた」30.3%と合計68.3%と学修する環境としては合格点をいただいたが、一部老朽化し更新が必要な設備等があり、今後改善が必要である。

Q6. 卒業後の進路について

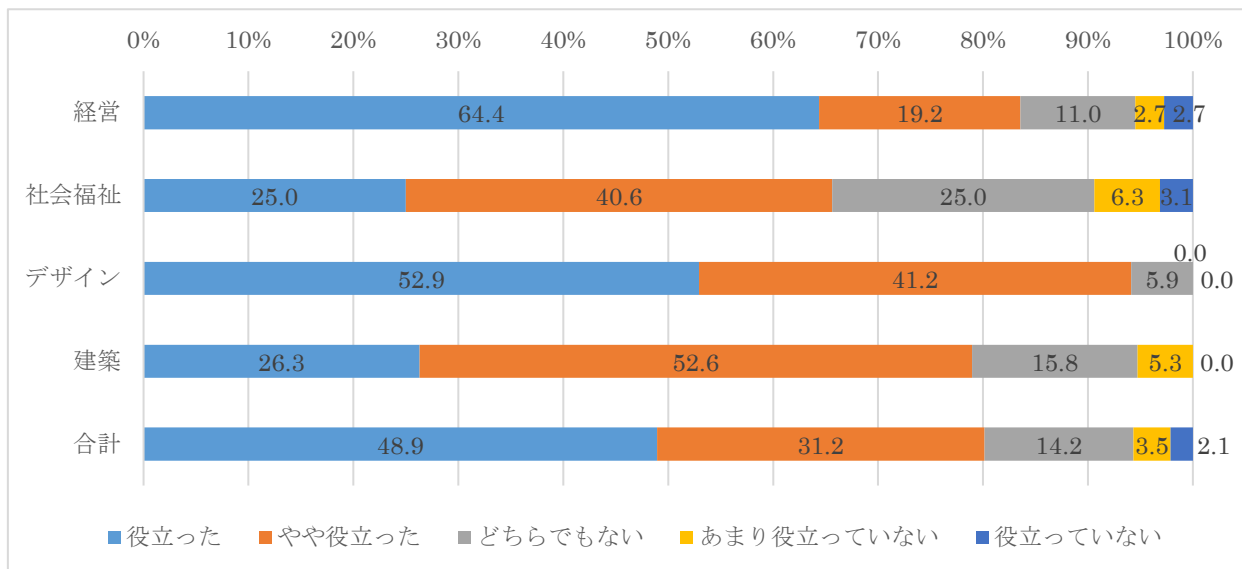
満足していると やや満足 が **80.9%**



平成 30 年度就職率は 97.4%と例年通り高く、卒業後の進路については、「満足している」が 51.0%、「やや満足」が 28.7%と回答しており、約 8 割の卒業生が就職に満足している。

Q7. 本学のキャリア支援は役に立ちましたか

役立ったと やや役立った が **79.1%**



Q6と同様な結果となり、本学にキャリア支援については役立ったと感じた卒業生が大部分であった。しかし、学科でのバラツキが見受けられる。特にデザイン学科の卒業生からは、本学のキャリア支援に対する満足度が高いと評価された。

Q8. 本学に対するご意見や後輩へのメッセージがありましたらご記入ください。

概ね大学へのお礼と感謝のメッセージであった。

平成30年度 星槎道都大学 卒業時満足度調査

調査実施日：2019年3月15日（金）

本日はご卒業おめでとうございます。平成30年度卒業生の皆様に調査へのご協力をお願いします。
この調査の結果につきましては、本学の教育改善に活用させていただきます。

所属学科	学科	性別	男・女
------	----	----	-----

以下の該当する回答数字に○を記入するか、回答数字を記入して下さい。

Q1. 本学に入学してよかったと思いますか。

- ① 大変良かった ② 良かった ③ どちらでもない
④ 良くなかった ⑤ とても良くなかった 回答数字（ ）

Q2. 所属した学部・学科に満足していますか。

- ① とても満足 ② 満足 ③ どちらでもない
④ 不満 ⑤ とても不満 回答数字（ ）

Q3. 本学の教育について満足しましたか。

（とても満足 → 5）（満足 → 4）（どちらでもない → 3）（不満 → 2）（とても不満 → 1）

- ① 専門教育あるいは所属学科の授業 回答数字（ ）
② 授業の全体的な質 回答数字（ ）
③ 日常生活と授業内容との関連 回答数字（ ）
④ 将来の仕事と授業内容の結びつき 回答数字（ ）
⑤ 教員と話をする機会 回答数字（ ）
⑥ 大学のなかでの学生同士の一体感 回答数字（ ）
⑦ 大学での経験全般について 回答数字（ ）

Q4. 入学した時点と比較して、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。

（大きく増えた → 5）（増えた → 4）（変化なし → 3）（減った → 2）（大きく減った → 1）

- ① 一般的な教養 回答数字（ ）
② 分析力や問題解決能力 回答数字（ ）
③ 専門分野や学科の知識 回答数字（ ）
④ 人間関係を構築する能力 回答数字（ ）
⑤ 他の人と協力して物事を遂行する能力 回答数字（ ）
⑥ 地域社会が直面する問題を理解する能力 回答数字（ ）
⑦ 国民が直面する問題を理解する能力 回答数字（ ）
⑧ 文章表現の能力 回答数字（ ）

アンケートは裏面に続きます。

以下の該当する回答数字に ○ を記入するか、回答数字を記入して下さい。

Q5. 学内の施設・設備は充実していましたか

- ① 充実していた ② やや充実していた ③ どちらでもない
④ あまり充実していなかった ⑤ 充実していなかった 回答数字 ()

Q6. 卒業後の進路について

- ① 満足している ② やや満足 ③ どちらでもない
④ あまり満足でない ⑤ 満足していない 回答数字 ()

Q7. 本学のキャリア支援は役に立ちましたか

- ① 役立った ② やや役立った ③ どちらでもない
④ あまり役立っていない ⑤ 役立っていない 回答数字 ()

Q8. 本学に対するご意見や後輩へのメッセージがありましたらご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。